



第 39 回日本自然災害学会学術講演会に参加しました (2021/3/19-3/20)

テーマ：学会発表

場 所：オンライン

URL：https://www.jsnds.org/annual_conference/

3月19日(金)～20日(金)の2日間、第39回日本自然災害学会学術講演会がオンラインで開催されました。本拠点からは、実践防災学研究領域の教員が発表を行いました。各発表者の講演題目等は以下の通りです。今後も当研究拠点では各種学会、シンポジウム等を通して、多くの研究成果を国内外に発信して参ります。

※下線は当研究所所属の教員

発表者	タイトル
渡邊 勇, 佐藤翔輔, <u>今村文彦</u>	東日本大震災の教訓の理解が防災行動に及ぼす効果の定量評価
新家杏奈, 佐藤翔輔, <u>今村文彦</u>	中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例
<u>門廻充侍</u> , <u>今村文彦</u>	東日本大震災における宮城県での遺体発見場所と犠牲者住所の関係
市川 健, 那須野新, 天谷香織, 榎館 晋, 佐藤翔輔, 橋本雅和, <u>今村文彦</u>	地域コミュニティが関わる河川維持管理の事例分析 -宮城県小西川を対象にした質的調査から-
宮本 龍, <u>Anawat Suppasri</u> , <u>今村文彦</u>	地震動の大きさを考慮した津波被害関数に関する一検討

文責：門廻充侍（実践防災学研究領域）